

最近の Bangladesh 情勢と日 Bangladesh 関係

Bangladesh 概要 1

Bangladesh 政治・経済情勢・外交 2

日 Bangladesh 関係 3

2018年2月
外務省南西アジア課

バングラデシュ政治・経済情勢

バングラデシュ政治情勢

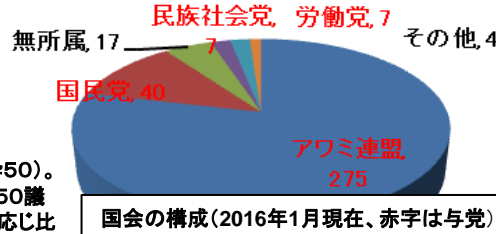


ハシナ首相
(アワミ連盟総裁)



ジア元首相
(BNP総裁)

【一院制】定員350(うち女性枠50)。
小選挙区が300議席、女性枠50議
席は小選挙区での獲得議席に応じ比
例配分



国会の構成(2016年1月現在、赤字は与党)

<バングラデシュ政治略史>

- 1975年 ムジブル・ラーマン初代大統領暗殺
- 1981年 ジアウル・ラーマン大統領暗殺
- 1990年 エルシャド軍事政権退陣、民主化移行
- 1991年 総選挙、ジア政権(BNP)発足
- 1996年 総選挙、ハシナ政権(アワミ連盟)発足
- 2001年 総選挙、ジア政権(BNP連立)政権発足
- 2006年 アーメド選挙管理内閣(暫定政権)発足
- 2008年 総選挙、ハシナ政権(アワミ連盟)発足(09年1月～)
- 2014年 与党単独による総選挙でアワミ連盟圧勝(1月5日)

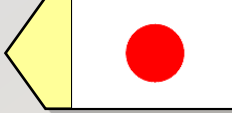
- 1971年独立後、数回のクーデター(2度の大統領暗殺含む)と軍政を経て、1990年に議院内閣制に移行。
- 二大政党の対立:アワミ連盟(総裁:ハシナ首相。ムジブル・ラーマン初代大統領の娘)
:バングラデシュ民族主義党(BNP)(総裁:ジア元首相。ジアウル・ラーマン元大統領夫人)
- 2009年に誕生したハシナ・アワミ連盟政権は、独立50周年にあたる2021年までに中所得国になることを目標とする「ビジョン2021」政策を
かけ、全国IT化を目指す「デジタル・バングラデシュ」を打ち出した。2014年には、BNP率いる野党18連合がボイコットするまま総選挙が実
施され、与党アワミ連盟が圧勝した。2018年末から2019年初頭にかけて総選挙が予定されている。
- 2015年以降、世俗的な作家・ブロガー、イスラム教シーア派やヒन्दゥー教宗教関連施設等を狙った襲撃事件が頻発、外国人を標的とし
た襲撃も発生する中、2016年7月、日本人7名を含む多数の外国人犠牲者を出すダッカ襲撃テロ事件が発生した。ハシナ首相はテロを一切
容認しない「ゼロ・トレランス」を掲げ、過激派摘発に全力で取り組んでいるが、依然としてテロの脅威が存在している。
- 1990年代以降、バングラデシュと国境を接するミャンマー・ラカイン州からベンガル系イスラム教徒が難民として流入。2017年8月、ミヤ
ンマー治安部隊等に対する襲撃事件により、バングラデシュに新たに60万人以上の避難民が流入し、人道状況が悪化している。

バングラデシュ経済

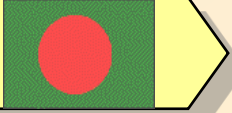
- 保健・教育等の開発目標でめざましい成果を挙げたMDGs実現のチャンピオン。2017年度GDP成長率は7.24%(過去10年の平均は6%
台)、2015年に「低中所得国」に移行(世銀による分類(一人あたりGNI1,316ドル)。国連による分類は後発開発途上国)。BRICSに続く新
興経済圏(ネクスト11)の一つ。
- ハシナ政権は、2021年(独立50周年)までの中所得国入りを目指し掲げ(ビジョン2021)、インフラ強化、産業多様化、投資促進、ガバ
ナンス強化、貧困撲滅、保健・教育、防災等の課題に取り組んでいる。
- 輸出は過去10年で4倍に拡大し、大半が米・欧向けの衣料品。輸入は中印からの石油製品、綿・綿製品や機械等。大幅な貿易赤字を海
外移住者・労働者からの送金(remittance)で補填(2016年:約194億ドル)。投資は製造業、運輸・通信(英、米、エジプト、韓国等)。

バングラデシュ外交

- 全方位外交で、インド・中国等近隣諸国と緊密な関係を維持。湾岸諸国ともイスラム教、海外労働者で密接な関係。
- 南アジア地域協力連合(SAARC)の提唱国・推進国。
- 国連平和維持活動(PKO)の主要要員派遣国(約7千人)。国際場裡では非同盟諸国(NAM)等途上国グループで活躍。



日 Bangladesh 関係

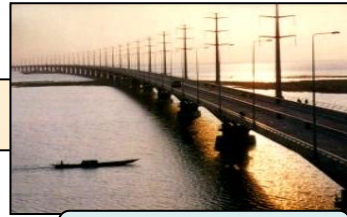


概要・要人交流

- 1972年の国交樹立以来一貫して、我が国と友好関係を有する親日国。2012年に外交関係樹立40周年を迎えた。
- 2014年、概ね4～5年を目途に最大6000億円の支援表明、「包括的パートナーシップ」の立ち上げにより、両国関係は新たな局面に入った。
- ※ 最近の要人往来：【日本→Bangladesh】2017年11月河野外務大臣、2017年9月堀井巖外務政務官、2017年1月武井外務政務官、2016年7月木原外務政務官、2015年10月関経産省政務官、2014年9月安倍総理、2014年3月岸田外相
- 【Bangladesh→日本】2016年5月/2014年5月ハシナ首相、2017年5月/2016年12月ムヒト財務大臣、2014年8月チョードリー国会議長など、閣僚等ハイレベルの訪日が継続

投資・貿易関係

- **投資**
 - ・近年「中国プラス1」の生産拠点として注目され、日本企業の進出が増加（255社（2017年）、2009年から約3倍増加）。
 - ・主要業種は繊維関連、商社、物流、製造業等。投資総額（97-14年度）は135.56億ドル（Bangladesh中央銀行）。
 - ・Bangladeshにおける電力・天然ガスの供給、工業用地の不足、許認可手続きの煩雑さ、高関税等が投資拡大の課題となっている。
 - **貿易**（2016年（JETRO資料））
 - ・対日輸入：2,075百万ドル（鉄鋼、車両、一般機械等）
 - ・対日輸出：1,080百万ドル（既製服、ニット製品、ジュート（麻）等、2009年から約4倍増加）
（対日衣料品輸出は2009年から約7.1倍増加）
- （* 2015年4月からニット製衣類の原産地規則が緩和）



上：日本が支援したジャムナ橋（全長4.8km）
下：ジャムナ橋をデザインした旧100円紙幣



経済協力

- 日本はBangladeshにとり最大の二国間援助供与国。
- 「中所得国化に向けた、貧困からの脱却と持続可能かつ公平な経済成長の加速化」の取組への支援を基本方針とし、マタバリ超々臨海火力発電所、ダッカMRT（メトロレール）、日本企業間経済特区を念頭にいた投資促進事業等、「ベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）構想」の実現に向けた協力を推進。

我が国造幣局はBangladesh政府から 同国通貨の製造を受託

- 2012年 2タカ（約2円）硬貨 5億枚（外国の一般流通貨幣製造受注は戦後初）
- 2013年 国立博物館開館100周年記念銀貨幣 4千枚



	円借款	無償資金協力	技術協力
13年度	0	40.86	42.38
14年度	1,209.86	14.05	38.15
15年度	1,332.65	26.98	46.23
累計	11,999.00	4,804.71	849.28

単位：億円 出典：外務省国際協力局

国際場裡での協力

- 多くの国際機関選挙・決議等では我が国を支持（日本の国連安保理常任理事国入りも支持）。核軍縮分野でも支持。